

テープ固定の種類

U字固定



手側① 動脈側(A)回路をU字固定して手側に出し、両回路を持ってもらう。



手側②



手側③ 回路とテープをしっかりと接着する。



手側④ 動脈側(A)回路をU字固定して手側に出しているが、途中の回路に余裕を持たせている。クランプキャスはカニューレ部分に2枚のサージカルテープをクロス状に固定する。



手側⑤ 回路を手で折り返し、手首にテープで固定しており、引っ張りに対し強いと思われる。



肩側① 静脈側(V)回路をU字固定して肩側に出し、両回路を袖口に鉗子で固定している。



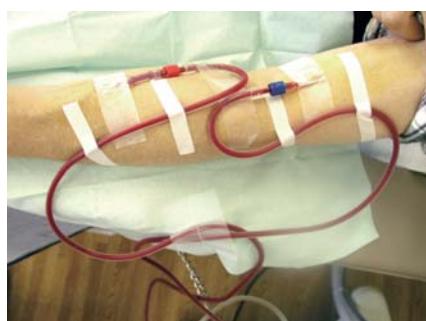
肩側②



肩側③ 動脈側(A)静脈側(V)回路とも外側に回して固定する。



肩側④ 静脈側(V)回路をU字固定して肩側に出し、両回路を袖口に鉗子で固定しているが、回路を体の外側に回し、体と引っ掛かり、圧迫されないようにしている。



両側 動脈側(A)静脈側(V)回路ともU字固定とし、更に両回路をシーツに固定している。

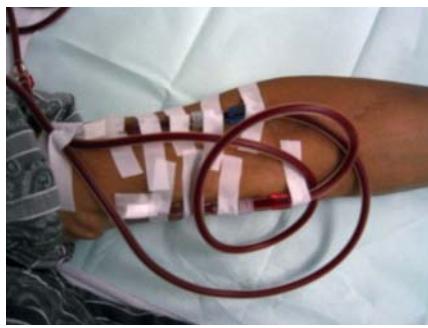
ループ固定



肩側① 回路の固定は回路全周をテープで固定する。回路はU字にして余裕をもたせる。



肩側② 回路固定時にループを形成し、外部からの引っ張りを緩衝させる。



肩側③ 動脈側(A)回路をループ固定、静脈側(V)回路をU字固定とし、肩側に出している。



手側 動脈側(A) 静脈側(V)回路をループ固定として手側に出し、ループ部分もテープで固定している。

固定法の工夫



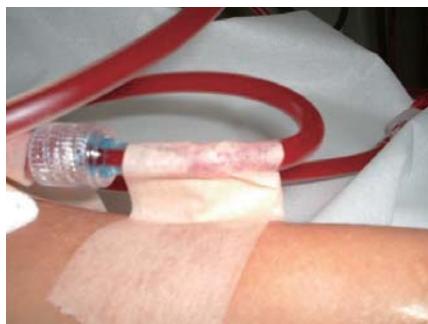
手持ち強化



たるみを持たせて固定 途中でたるみをもたせて緩衝の働きをさせている。



ベッド柵に固定 回路をベッド柵に固定し、引っ張りにより強くしてある。



Ω固定 テープをΩ字状に固定し、回路とテープの接着面積を最大限にしている。



クロス固定 カニューレの固定テープをクロス状に固定し、引っ張りに強くしている。